



日本聖公会  
大阪教区教務局  
〒545-0053  
大阪市阿倍野区  
松崎町2-1-8  
TEL 06-6621-2179  
FAX 06-6621-3097  
発行責任者  
教務局長 司祭 山本 眞

(HP) <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> (e-mail) [office.osaka@nsk.org](mailto:office.osaka@nsk.org)

第453号 2017年2月26日発行

毎年2月から3月にかけて大齋節（レント、四旬節、受難節。主日を除いた復活日までの40日間）を迎えます。今年は3月1日（大齋始日・灰の水曜日）からそれが始まります。この時期、世の中は年度替わりの忙しい時であり、学生たちにとっては卒業、入学・就職試験、そして新たな職場への就職、また働く人々



主教 サムエル 大西 修

## 大齋節

### 新たな信仰生活の出発点

活日に洗礼を受ける人々が、主のご復活の命にあずかる新しい人に変えられるための準備の時として熱心に守ってきたからです。すでに洗礼の恵みをいただいているわたしたちも、その思いをもう一度確認する好機でもあります。さて、イエスは荒野での40日間、父なる神からの試練をお受けになり、人類を救うた

決断を迫られます。それは自分自身のこれまでの歩みを謙虚に振り返り、神と向き合い、対話し、真剣に祈る中で、「あなたは何者なのか」という神からの問いかけに答えていくことが求められるのです。ほんとに小さく弱く、取るに足りないわたしをも受け入れ、愛し、生かし、用いてくださる方がおられることに気づか

国民の父」とされ、多くの苦難に遭遇しても主を信じて歩み、祝福を受けます。モーセはその名が示すように、「神が水の中から引き上げた」（出エジプト記2）者として、出エジプト（イスラエル人をエジプトにおける奴隷の状況から解放すること）の指導者の召命を受けました。神の選びは年齢、能力、才能、社会的な地位などによらずになされ、それに応えることによって与えられた使命を果たしました。

新たに悔い改めの心が芽生え、回心し、希望を持って生きていくための勇気が

生まれてきます。

聖書が語る信仰の先達の歩

みを辿ってみると、常に神と向き合い、神に語りかけ、神からの声を聴き、新たな生き

方、進むべき道が示されています。アブラムの召命は主の言葉に従って「主の示す地に行く」こと（創世記12）から

始まります。やがてアブラハムという名が与えられ、「諸

主の弟子たちペテロ、アンデレ、ヤコブ、ヨハネ、ピリポ、マタイ、そしてステパノ、パウロ等々、それぞれ異なるた生き方をしていますが、主イエスの荒野での40日間をその生き方の出発点にしているように思えるのです。弟子た

（次頁4段目につづく）

とっては、人事異動、転勤、引越、退職といった大きな人生の節目を迎える時でもあります。キリスト者の信仰生活にとって、大齋節の40日間はそれにも増してかけがえのない大切な時です。なぜなら教会では伝統的に大齋節を主イエス・キリストのご復活を心から喜び祝う準備の時、特に復

めの使命を自覚され、人々の中へ出ていかれました。イエスの公生涯、すなわちこの世における最後の数年間の宣教活動は、その出発点を神と向き合うことから始められました。わたしたちが大齋節を守る原点はこの出来事に示されています。思いも新たに信仰生活を歩んで行こうとする時、わたしはいつも神から一つの



# 大阪・京都特別協働教区

## 運営委員会からのお知らせ(その1)

昨年11月23日(水・休)に両教区で開催された教区会で、「特別協働教区」関係の件が可決され、大阪・京都特別協働教区運営委員会(以下、略称をOK特別委員会と呼ぶ)の設置を決定し、年明けから動き出しました。

【提案理由】を付した議案文は、各々の教区会決議録を参照いただきたいのですが、末尾に「組織的合併を指向し、視野に入れた特別協働教区関係を確立し、その中で、進めることができる協働を積極的に実現し、組織的合併の条件を整えてゆくことにする。」という目的が示されています。

第1回目の会合は、2017年1月9日(月・休)午後3時から、京都教区センターで持たれました。OK特別委員会では話し合い、決めたことは、両教区に均等に伝えていくことが重要との合意に基づき、それぞれの教区報に同文

のレポートを掲載して、両教区教役者・信徒全体の理解と協力を進めていきたいと願っています。また、質問や意見も両教区の教務所・教区事務所(当委員会宛に出していただけならと思います)。

発足時の構成メンバー・出席者は、以下の通りです。大阪教区：主教磯晴久、司祭竹林徑一、司祭内田望、辻彩乃(川口)、本間欽吾(高槻マリヤ)、京都教区：主教高地敬、司祭黒田裕、司祭大岡左代子、前田満(大津マリヤ)、瀬戸和子(京都復活)。各常置委員会では指名された、5人ずつ計10人です。

開会祈祷・自己紹介の後、まず、当委員会の方向性、進め方などについて、自由に意見交換を行いました。  
・あれもこれもと手を広げ過ぎず、中心的課題を明らかにして進める必要がある。  
・合併の進展を阻む要素の

一つに京都事件が挙げられるが、ここでも必要な情報を共有していくということ、この日も簡単な現状説明があった。

・自教会のことで手一杯で、教区や合併にまで気持ちが届かないという人も多いが、どう伝え、理解を深めるのかも大事な任務である。  
・仕方がないから協働する合併するのではなく、ワクワクするような宣言、発信をしていきたいなど。

続いて、組織改編や協働体制に関わることでは  
・大阪の教区会で決議し準備進行中の「三局体制」が整えば、2018年あたりから、諸委員会の整理・摺り合わせ・協働が進められたら…。双方の三局長に出席してもらい、現場の声を聞く必要も出て来る。互いの「組織図」と実情の理解・把握ができていない。  
・キャンプ、キッズフェスティバル、聖歌隊など実現できていることの評価も大事など。人事と財政に関わることで、給与格差の問題、施設と

(前頁よりつづく)

ち一人ひとりを見た時、どこにでもいるごく普通で平凡な人ですが、神の前にありのままの自分を素直に表すことができた人たちだったと思います。この大斎節、そんな生き方ができるように祈り求めてまいります。決して今からでも遅くはありません。私事ですが、最後に誌上をお借りしてご挨拶させていただきます。

9年間お世話になった大阪

教区を3月末で離れ、名古屋に移ります。名古屋では毎日の聖餐式のご奉仕と、週日は名古屋柳城短期大学チャプレンとして働かせていただくことになりました。

これまでの主にある温かなお交わりを感謝いたします。皆様の上に主の豊かな見守りと導きがありますようお祈り申し上げます。  
(おおにし おさむ・前大阪教区主教・富田林聖アグネス教会定住)

東日本大震災6年記念聖餐式  
午後2時46分の黙想  
また世界各地の自然災害を憶えて



司式 主教 アンデレ 磯 晴久  
説教 主教 ダビデ 谷 昌二 (前沖繩教区主教)

2017年3月11日(土) 14時  
大阪聖パウロ教会

主催：大阪教区礼拝・音楽委員会  
お問い合わせ 堺聖テモテ教会 TEL072-261-2015  
どなたでもご参加ください。

# 「特別協働教区」関係発足記念

## 大阪教区・京都教区合同礼拝

### ～ 聖餐式・協定調印式～

大阪教区と京都教区は 2017 年4月1日より「特別協働教区」関係となり、より豊かな宣教共同体の器となるために、これまで以上に協働を進めていくことが2016年11月の両教区教区会で決議されました。

その「特別協働教区」関係発足を記念して、両教区の信徒・教役者が集って協定調印の証人となり、これからの歩みが御心に適いますように、共に祈りましょう。

日時 2017年5月5日（金・祝）13：00～

場所 京都教区主教座聖堂（聖アグネス教会）

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売角

【アクセス】京都市営地下鉄/烏丸線「丸太町」下車。  
2番出口より北へ徒歩3分

司式 ステパノ 高地 敬 主教（京都教区）

アンデレ 磯 晴久 主教（大阪教区）

説教 サムエル 大西 修 主教

（前大阪教区主教・前教区間協働担当主教）

主催：大阪教区・京都教区特別協働教区運営委員会

協力：大阪教区宣教部 礼拝・音楽委員会

京都教区宣教局 礼拝部

お問い合わせは各教区事務所をお願いいたします。

（大阪は 06-6621-2179）



### 大阪教区・京都教区の子どもたちへ

## 大阪・京都のはじめの一步を みんなでせせげよう

### 聖餐式

2017年5月5日（金・祝）13：00～

京都教区主教座聖堂（聖アグネス教会）



礼拝中「主の平和」の時に子どもたちが中心となって賛美します！

キャンプやキッズのリーダー達もいっしょです。みんなで歌う楽しい気持ちを  
神さまにささげよう！ 子どもたち、ぜひ参加してください！

4月16日までに申し込みをお願いします。

問い合わせ・参加申し込み ——

● 大阪教区 宣教部 生涯学習委員会

担当（子どもプロジェクト） 斎藤みち（石橋聖トマス教会信徒）

（石橋聖トマス教会）TEL / FAX：06-6854-8657

Email：kyoukukids@gmail.com

の兼任、聖職志願や養成の課題など、いろんな課題が指摘されました。  
当日のまとめとして、①協働関係の目的は「宣教の活性化」のためであり、より豊かな

な宣教のためにヴィジョンを作っていく。②組織的合併ということよりは、まず協働関係を構築していくことが最優先で、できるだけ目に見える形で関係を作る。③協働して

いることを発信して輪を広げていく、等を確認し、最後に、目に見える共通の場・交わりとして5月5日の「合同礼拝・協定調印式」の持ち方を話し合いました。第1報が配布さ

れています。次回は、2月17日（金）午

後6時、大阪聖パウロ教会で、協定書素案を協議します。  
（司祭 竹林徑一・大阪教区常置委員長、特別協働宣教運営委員）

キリスト教一致祈禱会

宗教改革500周年を記念して

ヤコブ 小出 裕司

2017年キリスト教一致祈禱会が神戸地区は1月14日(土)カトリックたかとり教会で、大阪地区は1月28日(土)日本聖公会・大阪聖パウロ教会で実施されました。今回の報告では、大阪地区の内容について主に報告します。司式者に司祭・林正樹師、説教者に司祭・岩城聰師にお願いしました。キリスト教一致

祈禱会での貴重な説教内容の要旨を報告させていただきます。マルチン・ルターが「95箇条の提題」を発表して、いわゆる宗教改革を始めたとき、決してカトリック教会からの分離、分裂することを目的としていたわけではありませんでした。そうではなく、聖書を読み、祈っていく内に、福音の真髄に気付かされたわけです。それが「塔の体験」と言われている回心体験です。気づかされたということは、当時の教会の中にも福音の流



神戸地区 カトリック たかとり教会



大阪地区 大阪聖パウロ教会

音が存在したということではありませぬ。ですからそれは福音の「再発見」と言うのが正しいかも知れません。ルターが主張した宗教改革の原理として、信仰による義認、聖書のみ、恩恵のみという神学原理がありますが、これも、

週ってみれば、パウロ、そしてそれを受けついで古代の教父アウグスティヌスも貫いている福音の流れがあるのです。ですから、パウロの原理、いやイエス・キリストの福音の復権であったということもできます。

ト者を駆り立ててしまったのではないのでしょうか。岩城司祭はそのように述べられた後、今また世界には福音ではなく人間的な欲望や思いに従って歩むのがよいことだと考える風潮がよまっていますと警告されました。(こいで ひろし・大阪聖アンデレ教会信徒・大阪キリスト教連合代議員) ※全文は教区ホームページに掲載されています。

2017年度「聖なる三日間」の礼拝

〈聖木曜日〉

4月13日 (木) 午前 11 時

聖油聖別の聖餐式 (司祭按手の約束の更新)

司式・説教 アンデレ 磯 晴久 主教

4月13日 (木) 午後 4 時 30 分

聖餐制定記念聖餐式

司式 アンデレ 磯 晴久 主教  
説教 ペテロ 竹林 徑一 司祭



〈聖金曜日〉

4月14日 (金) 午後 1 時

教区聖金曜日礼拝 (主の御苦しみの黙想と陪餐)

司式 アンデレ 磯 晴久 主教  
説教 施洗者ヨハネ 山本 眞司祭

4月14日 (金) 午後6時 30 分

教区聖金曜日礼拝

司式 アンデレ 磯 晴久 主教  
説教 ウイルソン ウォーレン 司祭

〈聖土曜日〉

4月15日 (土) 午後5時

聖土曜日礼拝 (復活のろうそくの祝福、洗礼の約束の更新)

司式 アンデレ 磯 晴久 主教  
説教 ペテロ 竹林徑一 司祭

日本聖公会 大阪教区主教座聖堂 川口基督教会

教区婦人会  
被献日礼拝

シメオンの信仰について学ぶ

午後は感謝箱献金の講座

マルタ 富川 真理

あなたがたが待望している  
主は突如、その聖所に来ら  
れる。

(マラキ書3章1節)

被献日の礼拝が2月2日  
(木) 尼崎聖ステパノ教会に  
おいて行われました。内田聖  
司祭の司式により始まり、ウ  
イルソン ウォーレン司祭が



説教壇に立つウォーレン司祭

美しい日本語でわかりやすく  
シメオンの信仰について説い  
て下さいました。シメオンは

神の愛を知っていたので、主  
を信頼し希望を持ち、メシア  
が来られるのを待つことがで  
きました。私たちもシメオン  
の信仰に学び、主を信頼し、  
安心して落ち着いた生活を送  
ることができそうです。神  
様はいつも私たちと共にいて  
下さいます、とお話し下さい  
ました。

出席者は145人。信施金  
は211,043円。全額、  
日本聖公会婦人会に送られま  
した。

午後からは「感謝箱献金事  
務局(コア)」から3人の講  
師をお迎えして「感謝箱献金」  
の歴史やお働きについてお話  
を聴きました。国内外の困難  
の中にある多くの人々を支え  
るために用いられ、「共に生  
きるものとなるように」と  
の思いを込めて活動されてい  
ることを実感いたしました。

それぞれの時代に「うれしい  
時には感謝箱」なんじらキ

リスト・イエスの心を心とせ  
よ」という言葉が掲げられ、  
今に受け継がれてきた感謝箱  
感謝の気持ちを新たにお献げ  
することができますように。

その後、美味しいお茶とお  
菓子をいただきながら交流を  
楽しみました。尼崎聖ステパ  
ノ教会の皆様のおかげでな  
りに感謝いたします。小雪の  
ちらつく寒い朝でしたが、い  
つの間にか晴れわたり暖かい  
日差しにまつまれた感謝の1  
日でした。

(とみかわ まり・大阪聖ヨ  
ハネ教会信徒)



カンタベリーの地より

新任主教研修会で感じること

主の平和!

今私は新任主教研修会参  
加のため、英国・カンタベ  
リーにおります。このよう  
な貴重な体験・経験・学び  
の機会を与えて下さいまし  
たことを、神様と皆様にご  
謝申し上げます。参加者  
は、オーストラリア、カナ

ダ、インド(北インド合同教会、  
南インド合同教会)、コンゴ、  
イギリス、ガンビア、ギニア、  
ケニヤ、モザンビーク、南ア  
フリカ、ソロモン諸島(メラ  
ネシア聖公会)、南スーダン、  
タンザニア、アメリカ、そし  
て日本からです。国名を見れ  
ばお分かりになりますように、

の深い軋轢に苦しむ国等、多  
様な背景をもった主教たちの  
研修会です。まず印象的な  
は、大変な状況を抱えている  
アフリカの主教たちの若さ・  
元気さ・明るさ・ユーモアで  
与えられます。また毎日の生  
活の中で、力を与えられるの

が頌栄晩禱(Evensong)です。  
特にこどもたちの聖歌隊の天  
使の歌声は、心洗われ、癒さ  
れるひと時です。しかし一方  
では、1月29日にカナダ・ケ  
ベック州のモスクでイスラム  
教徒への銃襲撃事件があり、  
参加者の一人で、当地の主教  
Bill Cliff 主教は、沈痛な面持  
ちで急遽帰国されるなど、緊  
迫感のある一コマもあります。  
この研修会で、強調され、学  
ぶ第1のことは、私たちはア  
ングリカン・コミュニオンの

一員であるということでは  
それは世界に広がる共同体  
であり、たとえば聖餐式の  
中で、自分の教会・教区  
メンバーだけではなく、世  
界中の兄弟姉妹とつながっ  
ていると感じることです。  
この研修会は、そうしたこ  
とを肌で感じさせ、考えさ  
せるものとなっています。  
皆様の上に主の導きが豊か  
にありますように。

(主教アンデレ 磯晴久)  
(Feb.4th 2017 U.K.)

# この春の青少年プログラム

2月から4月末までの間、青少年を対象とした三つのプログラムが行われます。教区報発行時点で、すでに開催後のプログラムもありますがご紹介します。

(生涯学習委員会・青年担当)

## ◎ 第5回U26全国集会

2月17日(金)～19日(日)まで、和泉市の信太山青少年野外活動センターで開催されました。この記事を執筆中の2月3日現在、30人ほどの18歳～26歳の青年が参加登録しています。今回のテーマは「GIFT」

で、「神様からいただいた『GIFT』を自分自身も気づくことができ、お互いの『GIFT』を気づくことができる集会」になれば、という願いが込められています。礼拝はもちろん、聖書研究・ワークショップ・分かち合いなど多彩なプログラムが計画されています。  
\*引用部：日本聖公会U26 活動発信センター <http://nisk-u26.blogspot.jp>

## ◎ J'sキャンプ@熊本

J's キャンプは春夏に開催される中高生のキャンプです。京都教区主催のプログラムでしたが、2015年からは京都・大阪教区主催となりました。特に春は「Meet and Mission」をテーマに、各地の宣教に触れることで「いのちを見つめ、ひとりひとりが神さまに大切にされていることを、心にとどめて交わりを深めていきたい」との願いを持って企画されています。この春は、昨年大きな地震が起こった熊本を3月27日(月)～30日(木)の日程で

訪れます。今も地震の爪痕が深く残る被災地を訪れ、また教会の働きにも触れます。そして、ハンセン病回復者の施設である国立療養所菊池恵楓園も訪れます。参加者にどのような出会いを経験し、何を感ずってもらえるのが期待されます。

## ◎ キッズフェスティバル

今年は4月29日(土)にキッズフェスティバルが開催されます。昨年は京都の聖アグネス教会で行われました。今回は川口基督教会が予定されています。場所が違って、

昨年と同じく京都・大阪教区共催で準備を進めています。テーマは「愛・愛(あい)・I(アイ)」で、内容は「ザアカイ」のお話です。ゲームやスタンプで楽しい一時を過ごし、学び分かち合い、一緒に礼拝をささげます。「イ

# J'sキャンプ@熊本 Meet & Mission



青年世代のみなさま

# J'sキャンプ@熊本+ ジェイズキャンプアットくまもとプラス

主題聖句：ひとりよりもふたりが良い。共に労苦すれば、その報いは良い。(コヘレトの言葉4章9節)

日 程：2017年3月27日(月)～30日(木)

宿 泊：九州ルーテル学院 (〒860-8520 熊本市中央区黒髪 3-12-16)

対 象：中学生・高校生の年代の方(青年年代の方は『J's キャンプ+』にお申し込みください)

参加費：30,000円(当日お持ちください。集合場所まで遠方からの参加の方には交通費補助を予定しています)

申込締切：2017年3月3日(金) 必着(定員を超えた場合は予定より早く締め切ることがあります)

申 込 先：教育部「J's キャンプ」宛 郵便・ファックス・Eメールにて

京都教区教務所：〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上る桜鶴岡町380

Tel：075-431-7204 / Fax：075-441-4238

E-mail：keiichi-suzuki@nifty.com (鈴木恵一)

問い合わせ：聖職候補生 金山 将司(大阪聖愛教会 TEL 06-6771-4123 / mpeter1216@gmail.com)

執 事 鈴木 恵一(聖アグネス教会 TEL 075-432-3015 / keiichi-suzuki@nifty.com)

主 催：日本聖公会 京都教区 宣教局 教育部「J's 部門」、大阪教区 生涯学習委員会

協 賛：日本聖公会 京都教区 宣教局 教育部「青年活動窓口」

シリーズ 聖公会関連施設紹介 ― ⑭

# 桃山学院中学校高等学校

司祭 ヤコブ 義平 雅夫



2016年高校クリスマス (記念体育館)



2016年中学クリスマス礼拝 (主教座聖堂)

桃山学院中学校高等学校は、今年創立134年目を迎える、大阪ではもっとも古いキリスト教私学のひとつです。英国CMSの宣教師C・F・ワレン師が、1884年に川口居留地の聖三一教会で始めた小さな男子校(三一小学校)がその始まりです。生徒数の増加などにより天王寺区筆ヶ崎(通称「桃山」)への移転を機に「桃山中学校」と命名され、以後、1912年に現在の阿倍野区昭和町に移ってからもこの校名を継承しました。

創立時から続いている礼拝は、今も毎朝、放送を通して全校生徒とともに献げられています。なにしろ生徒数が多い(中学生約360人、高校生2千数百人)、とくに全校生徒が一堂に会することができる礼拝は、年に一度のクリスマス礼拝だけです(中学は川口基督教会で、高校は校内の記念体育館に椅子を入れて行います)。

中学1年から高校1年までは宗教の授業があり、毎年1度の教会出席を勤めています。ほとんどの生徒にとって礼拝は初めての経験で戸惑うことも多いようですが、レポートにはほぼ必ず「教会の方に親切にしてもらって嬉しかった」、「優しく接してもらって安心した」という言葉が見られ、教会の皆様が温かく受け入れていただいている様子が伝わ

ってきて、教会の皆様には心から感謝しております。10年ほど前に、創立125周年の記念として、生徒・保護者・教員合同の「桃山学院中高聖歌隊」が結成され、学内外の礼拝や福祉施設での演奏など精力的に活動しています。またここ数年、生徒だけで結成された聖歌隊(The Chorists of St. Andrew)も誕生し、クリスマスを始め学校や教会の礼拝でレベルの高いアンセムを奉唱しています。

これ以外に、クラブ活動でも数々の試合や大会で優秀な成績を残し、また生徒会自治会活動を通して生徒たちは活発な活動を続けています。受験勉強ばかりでなく、先輩方から受け継いだ「自主規律」、そしてキリスト教に基づく「自由と愛」の精神を土台とした自由闊達な校風が桃山校の魅力です。

(よしひら まさお・大阪聖アンデレ教会牧師、桃山学院中学校・高等学校チャプレン)

惑うことも多いようですが、レポートにはほぼ必ず「教会の方に親切にしてもらって嬉しかった」、「優しく接してもらって安心した」という言葉が見られ、教会の皆様が温かく受け入れていただいている様子が伝わ

## 大阪教区・京都教区 子ども礼拝 キッズフェスティバル 2017

あい アイ  
～ であい・愛・I ～

「ザアカイ、急いで降りて来なさい。  
今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」(ルカ19:5)



**4月29日 (土・休)**  
(10:00受付～15:00)

**会場：川口基督教会**

主催：大阪教区 宣教部生涯学習委員会  
京都教区 教育部

問い合わせ・参加申し込み  
生涯学習委員会 (子どもプロジェクト担当：斎藤みち)  
TEL/FAX 石橋聖トマス教会 06-6854-8657  
Eメール kyoukukids@gmail.com

### 世界の窓

○米国聖公会のリーダーが移民政策を語る

ドナルド・トランプ大統領はメキシコとの国境に壁を築くことや、約1100万人と推

定されている不法滞在者を強制送還させるといふ一連の大統領令に署名している。このことから、米国聖公会の総裁主教と移民宣教局(以下、EMM)の局長がトランプ大統領の移民政策を懸念し、移民や難民が困窮状態に陥ると危惧している。また、米国聖公会公共政策ネットワークは、この政策に対して警告を発し、聖公会の人々が移民や難民の擁護者となるように促している。マイケル・カリー総裁主教は、難民をいたわり定住させる働きが聖公会や信仰を土台とした組織の牧会のひとつであるとし、「EMMは神の働きであり、彼らを哀れみ保護する働きを通して神のみ顔を見せることになる」と語る。また、「我々の行っている難民定住プログラムを中断することなく続けていけることを

トランプ大統領に要求する。彼らが何カ月も、または何年も入国審査を待ち続けていることを認識しなければならぬ

。我々は今まで以上に受け入れが必要とされている状況を見据え、これまで通りに難民を受け入れ続ける。入国を希望する難民を全ての国から受け入れ、最も支援を必要とする国々からの難民の受け入れを禁止することのないようにと大統領に要請する」と訴えている。EMM局長のステイブンソン司祭によると、毎年EMMは世界中の紛争地域から難民を受け入れており、2017年はコンゴ、ビルマ、アフガニスタン、シリアなど、32カ国から5千人の難民受け入れを計画している。

(Anglican Communion News Service, January 26th, 2017)

○ホロコースト記念日・ウェルビー大主教が悪との結託を警告

アウシュビッツ解放記念日が1月27日と定められて以来、ホロコーストと他の大虐殺を想起するための追悼式典

が、各地の国際社会で行われている。カナタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー師父は解放記念日前夜に、ロンドンのウエストミンスター寺院において執り行われた追悼礼拝の説教で「あらゆる会話や全ての議論の中で、文化的な『ポスト・トゥルース』に侵されないように」と警告した。「ポスト・トゥルース」とは「客観的な事実が重視されず、感情的な訴えが政治的に影響を与える状況」のことである。大主教は60人の聖職者と共にアウシュビッツを訪問したばかりであることを伝え、「そこで知った大虐殺は大多数の人々の沈黙という共謀によるものだった」と自らの見解を述べた。その理由を、ユダヤ人達は悪意ある政治家やメディアによって正当な理由もなく中傷されたが、その情報を疑うこともなく鵜呑みにしたのは一般人だからであるという。また、礼拝後にBBCのインタビュアーを受け「アウシュビッツ訪問で最も衝撃的だったことは、大量虐殺という恐ろしい犯罪に手を貸した人々が、すこぶる普通

で正常な人間達であったことだ。彼らの中には計理士、医師、建築技師などがおり、各々が何の疑問を持つこともなく与えられた任務を遂行しただけと思い込んでいた。彼らの働きが大虐殺という犯罪につながっているという意識は皆無だったのだ」と答えた。そして、これは人が見聞きする情報を信じ込むことにより、その行動が操作されてしまうと、この危険性を警鐘していると語る。そのような意味からも、

大主教は我々の国家が暴行や虐待から逃れてくる人々の安全と癒しの場となるように、あらゆる会話や全ての議論に關して「ポスト・トゥルース」に流されて悪と結託するようないことが絶対にならないようにとコメントしている。  
(Anglican Communion News Service, January 27th, 2017)  
司祭 ヤコブ 松平功  
(まつだいら いさお、守口復活教会牧師)

## 公 示

救主降生2017年1月29日  
日本聖公会大阪教区  
教区会議長 主教 アンデレ 磯 晴久

日本聖公会大阪教区第118(臨時)教区会を、下記のように招集します。

### 記

- ◆会 期 2017年3月19日(日)午後3時から5時
- ◆会 場 日本聖公会大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)会館  
大阪市西区川口1丁目3番8号
- ◆議 題
  - (1) 2016年度日本聖公会大阪教区会計決算承認の件
  - (2) 2016年度日本聖公会大阪教区一般会計余剰金処理の件
  - (3) 守口復活教会名称変更の件

なお、上記教区会の書記に下記の者を指名します。

書 記 司祭 ヤコブ 松平 功  
司祭 クリストファー 奥村 貴充

## 公 示

教主降生2017年2月1日  
日本聖公会大阪教区  
主教 アンデレ 磯 晴久

下記の人事異動を発令いたします。

- 司祭 ペテロ 岩城 聰 2017年3月31日付 定年により退職とする。  
川口基督教会牧師の任を解く。並びに大阪城南キリスト教会、聖ガブリエル教会管理牧師の任を解く。  
2017年4月1日付 司祭ペテロ竹林徑一のもと川口基督教会、司祭ヤコブ松平功のもと聖ルシヤ教会において囑託司祭として勤務することを委嘱する。三光塾チャプレン司祭ペテロ竹林徑一のもと、三光塾副チャプレンを委嘱する。ただし、法規第53条第2項により、任期を1年とする。
- 司祭 ペテロ 竹林徑一 2017年3月31日付 聖ルシヤ教会管理牧師の任を解く。  
2017年4月1日付 川口基督教会の管理を委嘱する。三光塾チャプレンに任命する。
- 聖職候補生 ペテロ 金山将司  
2017年3月31日付 大阪聖愛教会勤務の任を解く。  
2017年4月1日付 司祭ペテロ竹林徑一の指導のもと、川口基督教会勤務を命ずる。
- 主教 アンデレ 磯 晴久 2017年3月31日付 大阪聖愛教会管理牧師の任を解く。  
2017年4月1日付 大阪聖三一教会 恵我之荘聖マタイ教会、富田林聖アグネス教会、大阪城南キリスト教会（成岡執事の司祭按手・牧師任命式まで）、高槻聖マリヤ教会（韓相敦司祭の牧師任命式まで）の管理を委嘱する。
- 司祭 ヨハネ 古澤秀利 2017年3月31日付 高槻聖マリヤ教会牧師の任を解く。  
2017年4月1日付 大阪聖愛教会牧師に任命する。聖バルナバ病院チャプレン補、博愛社（こひつじ乳児保育園）チャプレン補に任命する。釜ヶ崎宣教担当者に任命する。  
2017年3月31日付 聖ヨハネ学園チャプレンの任を解く。（2月15日公示）
- 司祭 金 アンデレ 2017年3月31日付 聖ルシヤ教会副牧師の任を解く。  
2017年4月1日付 主教アンデレ磯晴久のもと、富田林聖アグネス教会並びに恵我之荘聖マタイ教会において副牧師として勤務することを命じる。プール学院（大学）の要請により、チャプレン補として週5日勤務することを命じる。
- 司祭 クリストファー 奥村貴充  
2017年4月1日付 聖ガブリエル教会の管理を委嘱する。
- 司祭 ヤコブ 松平 功 2017年4月1日付 聖ルシヤ教会の管理を委嘱する。プール学院大学の要請により、チャプレンとして週2日勤務することを命じる。
- 司祭 マルチン ハンサンドン 韓相敦 2017年4月1日付 大韓聖公会ソウル教区の要請により、宣教協働者として受け入れる（任期は一期3年）。高槻聖マリヤ教会牧師に任命する。  
2017年4月1日付 聖ヨハネ学園チャプレンに任命する。（2月15日公示）
- 司祭 ウイルソン ウォーレン 2017年4月1日付 第4主日大阪聖パウロ教会での主日勤務を命ずる。大阪聖パウロ教会で行われている大阪教区英語礼拝担当に任命する。

(次頁へつづく)

(前頁よりつづく)

主教 サムエル 大西 修 (退)

2017年3月31日付 富田林聖アグネス教会ならびに恵我之荘聖マタイ教会の囑託司祭の任を解く。

司祭 ペテロ 齊藤 壹 (退)

2017年4月1日付 主教アンデレ磯晴久のもと大阪聖三一教会において囑託司祭として勤務すること、ならびに司祭クリストファー奥村貴充のもと聖ガブリエル教会で囑託司祭として主日勤務することを委嘱する。博愛社(こひつじ乳児保育園)チャプレン、聖バルナバ病院チャプレンに任命する。ただし、法規第53条第2項により任期を1年とする。

司祭 ヨハネ 奥 康功 (退)

2017年4月1日 司祭ヨハネ古澤秀利のもと大阪聖愛教会、ならびに司祭ペテロ竹林徑一のもと大阪聖ヨハネ教会において主日勤務することを委嘱する。ただし、法規第53条第2項により任期を1年とする。

司祭 ヨハネ 木村幸夫 (退)

2017年4月1日付 司祭施洗者ヨハネ山本眞のもと西宮聖ペテロ教会および尼崎聖ステパノ教会において、囑託司祭として主日勤務することを委嘱する。ただし、法規第53条第2項により任期を1年とする。

司祭 ウイリアムス 竹内信義 (退)

2017年3月31日付、プール学院(大学)チャプレンの任を解く。

2017年4月1日付 司祭ジョイ千松清美のもと石橋聖トマス教会、庄内キリスト教会、司祭ヨシュア原田光雄のもと東豊中聖ミカエル教会において、囑託司祭として主日勤務することを委嘱する。ただし、法規第53条第2項により任期を1年とする。

司祭 サムエル 坪井克己 (退)

2017年4月1日付 司祭ヤコブ義平雅夫のもと大阪聖アンデレ教会、司祭テモテ内田望のもと堺聖テモテ教会、司祭ヤコブ松平功のもと聖ルシヤ教会の囑託司祭として主日勤務することを委嘱する。ただし、法規第53条第2項により任期を1年とする。

司祭 サムエル 松岡虔一 (退)

2017年4月1日付 主教アンデレ磯晴久のもと富田林聖アグネス教会、恵我之荘聖マタイ教会および司祭ヨハネ古澤秀利のもと大阪聖愛教会において囑託司祭として主日勤務することを委嘱する。ただし、法規第53条第2項により任期を1年とする。

司祭 ペテロ 松山龍二 (退)

2017年4月1日付 司祭クリストファー奥村貴充のもと聖ガブリエル教会、主教アンデレ磯晴久のもと大阪城南キリスト教会および高槻聖マリヤ教会において、囑託司祭として主日勤務することを委嘱する。ただし、法規第53条第2項により任期を1年とする。

司祭 ダニエル 山野上素充 (退)

2017年4月1日付 司祭ジョージ林正樹のもと大阪聖パウロ教会、司祭クリストファー奥村貴充のもと聖贖主教会、司祭ジョイ千松清美のもと庄内キリスト教会において囑託司祭として主日勤務することを委嘱する。ただし、法規第53条第2項により任期を1年とする。

以上

# 教区の動き

## 常置委員会報告

12月2日(第2回定例)

### I. 主教報告

\*京都教区退職司祭・大塚勝師逝去に際し、教区を代表して竹林徑一司祭が葬儀に参列。  
 \*韓国濟州友情聖堂建設に關して、日本聖公会に資金拠出

### II. 協議事項

\*13教会より44人の推薦があった信徒奉事者に關して、教区主教に全員を推挙した。  
 芦屋聖マルコ教会(5人) 辻潤、野見山充、山本多津子、和田育子、寺内誠/西宮聖ペテロ教会(4人) 山田緑、倉

の要請がある。

\*守口復活教会名称変更の件に關して、教会委員に意見聴取を行っている。創立65周年を迎えるに際し、新しい教会名で出発をしたい考え。

## 台湾聖公会訪問・交流団のお誘い



時期: 2017年5月9日(火) ~ 12日(金)

構成: 磯晴久主教・同夫人、大阪教区台湾交流委員会メンバー数名、教役者有志、各教会・諸団体・他教区からの参加希望者、合わせて10人~20人を予定。

参加費用: 125,000円

内訳: 航空・鉄道運賃(台湾国内新幹線・オイルサーチャージ込み)、ホテル宿泊(台北一泊、日月潭一泊、嘉義一泊)、食事代の一部

申込み: 申込用紙に記入の上、3月末日までに教区事務所にFAX、メールあるいは郵送でお申込みください。

申込先: 日本聖公会大阪教区事務所  
〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町1-2-8  
TEL 06-6621-2179 FAX 06-6621-3097  
Mail : office.osaka@trad.ocn.ne.jp

戸ナオミ、吉川礼子、久保孝彦/石橋聖トマス教会(4人) 服部喜代司、原積寿子、牧口真理、山崎信/守口復活教会(1人) 原田契/大阪聖ヨハネ教会(2人) 興津健蔵、野知卓司/大阪聖パウロ教会(2人) 浅田通子、薦田久美子/川口基督教会(7人) 内海良輔、社領共美、高橋明子、田中史、野上千春、名出正、島崎聖子/大阪聖愛教会(5人) 石井英隆、米虫克次、高島幸二、松岡興二、豊川雅章/大阪聖アンデレ教会(4人) 小野田芳大、田中久子、小出裕司、宇野哲夫/大阪聖三一教会(1人) 高田須磨雄/恵我之荘聖マタイ教会(3人) 鈴木靖夫、春名英夫、中川裕之/東豊中聖ミカエル教会(5人) 山田護、米満司郎、若本眞記、工藤正路、岐邨正昭/富田林聖アグネス教会(1人) 山本勝彦

\*教区礼拝の予定につき、プール学院を拝借することを前提に確認する。  
 \*「主とともに」の頒布方法について協議。  
 \*「大阪・京都特別協働教区運営委員会」の委員選任に關

し、大阪側は磯晴久主教、竹林徑一常置委員長のほか、内田望司祭、辻彩乃、本間欽吾の各氏を指名、依頼する。  
 \*4月よりの人事につき主教の諮問を受けた。(以上)

1月11日(第3回定例)

### I. 主教報告

\*特別協働教区関係発足に伴い、5月5日(金・休)13時より京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会)で、合同礼拝(特別協働教区関係発足 大阪教区・京都教区合同礼拝聖餐式・調印式)を行う。  
 \*カトリック大阪大司教区高山右近列福式の案内に対し、磯主教訪英中のため竹林徑一司祭が出席する。  
 \*教区礼拝は9月24日(日)に開催予定(於プール学院)。

### II. その他諸報告

\*「礼拝・音楽委員会」主催で3月11日(土)14時から東日本大震災記念聖餐式を大阪聖パウロ教会において行う(司式・磯晴久主教、説教・谷昌三主教)。

### III. 協議事項

\*教区会書記の松平功司祭及び奥村貴充司祭の出席により、第117(定期)教区会の議事録朗読が行われ、字句の修正等を確認の上承認。  
 \*主教より諮問があった4月よりの人事異動案に同意。  
 \*大韓聖公会ソウル教区、韓相敦(ハンサンドン)司祭との宣教協働者契約を交わす件につき同意。  
 \*畑野めぐみ姉より、家庭の事情により常置委員辞任の意思が示された承、次点の豊川雅章氏が後任に当たることを確認。(以上)

## 教会・施設の動き

ヨハネ学園  
 ○3月4日(土) 聖ヨハネ学

教区関係教役者  
逝去者記念聖餐式

◇ 3月8日 (水) 午前 10 時 30 分  
於：主教座聖堂 (川口基督教会)  
説教者 主教 サムエル 大西 修  
執 事 ペテロ 井上 栄 (1966.3.1)  
司 祭 フレッド・ケトルウェル (1952.3.3 英)  
伝道師 南 民子 (1961.3.10)  
司 祭 山崎 貞一 (1951.3.15)  
伝道師 宗像 和雄 (2013.3.16)  
宣教師 フローレンス・エリザベス・ガーディナー (1970.3.17 英)  
主 教 クリストファー 木川田 一郎 (2015.3.18)  
宣教師 リーラ・ブール (1924.3.20 米)  
司 祭 パウロ 安倍 騰 (1945.3.20)  
主 教 ヒュー・ジェームズ・フォス (1932.3.21 英)  
司 祭 オリヴァー・ヘイワード・ナイト (1969.3.22 英)  
伝道師 ハンナ 田中 ヲハナ (1983.3.23)  
宣教師 メアリー・ダブルデイ・ウッド (1891.3.24 英)  
伝道師 林 歌子 (1946.3.24)  
宣教師 ノーラ・フレデリカ・ジェニー・ボウマン (1965.3.24 英)  
伝道師 姉川 鶯声 (1989.3.24)  
司 祭 岸本 隆一 (1953.3.26)  
司 祭 ステパノ 東海林 定一 (1993.3.26)  
司 祭 伊藤 堅逸 (1967.3.28)

◇ 4月12日 (水) 午前 10 時 30 分  
於：主教座聖堂 (川口基督教会)  
説教者 主教 アンデレ 磯 晴久  
執 事 中西 義之 (1909.4.1)  
主 教 ジョン・マキム (1936.4.4 米)  
司 祭 ジョージ・ウイリアム・ローリングス (1933.4.7 英)  
司 祭 名出 武 (1945.4.7)  
伝道師 織間 小太郎 (1934.4.15)  
司 祭 ベニヤミン 池沢 駿太郎 (1956.4.15)  
司 祭 ペテロ 藪本 竹次 (1979.4.15)  
司 祭 ジョン・キャメロン・マクドナルド (1993.4.15 加)  
司 祭 パウロ 藤倉 恒雄 (2001.4.17)  
宣教師 メアリー・ジェーン・オクスラッド (1922.4.20 英)  
司 祭 ステパノ 井上 俊一 (1983.4.20)  
宣教師 エレノア・メアリー・フォス (2002.4.21 英)  
司 祭 早川 喜四郎 (1943.4.23)  
主 教 ジョン・チャールズ・マン (1967.4.28 英)

\*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前 10 時 30 分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

園児童養護施設では卒園式が行われます。6人の園生が卒園します。  
○3月11日(土)には、下田部保育園で卒園式が行われます。どうぞ園生・園児たちのこれからの歩みを憶えてお祈り下さい。  
聖贖主教会  
○4月8日(土) 13時30分より(開場13時)、6人の奏者による「マタイ受難曲」(抜粋)を開催。場所…聖贖主教会2階聖堂

祝受洗

○庄内キリスト教会  
ヨハネ 竹中 秀喜  
(2016年12月9日)  
○聖三一教会  
サムエル 大西 涼空  
(2016年12月11日)  
○富田林聖アグネス教会  
トマス 阿部 昌弘  
(2016年2月14日)  
ユスト 田守 信之  
(2016年9月11日)

祝受按

○聖三一教会  
マリア 寒河江七穂  
シシリア 中嶋 菜奈  
(2016年12月11日)  
○西宮聖ペテロ教会  
ペテロ 当舎 岳流  
田邊 明子  
(1月15日)  
○庄内キリスト教会  
ヨハネ 竹中 秀喜  
(2016年12月9日・72歳)

魂の平安を  
祈ります

○大阪聖アンデレ教会  
サラ 海野瑠璃子  
(2016年12月14日・82歳)  
○川口基督教会  
ヨハネ 川島 弘章  
(2016年12月20日・88歳)  
バルナバ 大方 恵  
(1月21日・58歳)  
○大阪聖愛教会  
月山みね子  
(2016年12月23日・91歳)  
○芦屋聖マルコ教会  
バルナバ 畑野 榮一  
(1月13日・95歳)

お詫びと訂正

教区報第452号の掲載記事に以下の誤りがありました。訂正してお詫びします。

14ページ・教区関係教役者逝去者記念聖餐式・1月の説教者(上から5行目)  
(誤) 主教 ペテロ竹林徑一  
(正) 司祭 ペテロ竹林徑一

○大阪聖パウロ教会  
ダニエル 岡井 征彦  
(1月19日・71歳)

## 2017年度大阪教区各委員会・担当者等の構成(2017年1月)

敬称略

★教区主教 主教 磯晴久

★常置委員(定員 聖職3人 信徒3人/任期1年=2017年度定期教区会まで)

- ・聖職 司祭 竹林徑一(長)、司祭 内田望、司祭 原田光雄、(補欠:司祭 義平雅夫)
- ・信徒 小池義郎(書記/マルコ)、辻節子(トマス)、豊川雅章(聖愛)

★総会代議員(定員 聖職2人 信徒2人/任期2年=2018年開催の定期総会公示日の前日まで)

- ・聖職 司祭 岩城聰、司祭 山本眞 (補欠:①司祭 竹林徑一 ②司祭 内田望)
- ・信徒 長野泰信(トマス)、鈴木光子(ステパノ) (補欠:①豊川雅章(聖愛))

★会計検査委員(2人〔規則〕では若干名)/任期1年=2017年度定期教区会まで)

春名英夫(マタイ)、山本多津子(マルコ)

## ★諸委員・担当

■聖職試験委員会( )内は担当科目/9人)

- 司祭 原田光雄(長)〈宣教・牧会・法規〉、司祭 岩城聰〈教理〉、司祭 内田望〈礼拝〉
- 司祭 黒田裕〈新約聖書/京都教区〉、司祭 竹林徑一〈教会史〉、司祭 山本眞〈旧約聖書〉
- 鈴木久美子(マタイ)〈説教/全聖職委員とともに担当〉、辻節子(トマス/同)、野知卓司(ヨハネ/同)
- ※黒田裕司祭〈新約聖書〉は、京都教区との相互の教区間協働によるもの。

■聖職養成委員会(7人)

- 司祭 山本眞(長/マルコ)、伊藤良三(マルコ)、司祭 内田望、司祭 奥村貴充、鈴木光子(ステパノ)、
- 米満司郎(ミカエル)、長野加代子(トマス/神学生後援会常任理事)

■大阪教区台湾交流委員会(7人, 協力委員2人)

- 司祭 千松清美(長)、司祭 奥村貴充、司祭 ウイルソン ウォーレン、司祭 金 アンデレ、
- 池本彰男(川口)、小出裕司(アンデレ)、松尾世謹(ミカエル)
- (協力委員:大隅彩恵子(京都聖ヨハネ)、葛西信宏(京都教区))

■牧会支援委員会(8人)

- 司祭 義平雅夫(長)、司祭 千松清美(副)、司祭 原田光雄、池本真知子(川口)
- 上床益代(パウロ)、岐邨正昭(ミカエル)、丹羽正擴(マリヤ)、八木さゆり(ペテロ)

■大阪・京都特別協働教区運営委員会(任期2017年教区会まで)

- (大阪) 主教 磯晴久、司祭 竹林徑一、司祭 内田望、辻彩乃(川口)、本間欽吾(マリヤ)
- (京都) 主教 高地敬、司祭 黒田裕、司祭 大岡左代子、瀬戸和子(復活)、前田満(大津)

■主教座聖堂参事(司祭3人, 信徒4人〔規則〕では若干名)/任期は「規則」により定めない)

- 司祭 岩城聰(長/3月末まで)、司祭 竹林徑一(長/4月から)、司祭 内田望、司祭 山本眞、
- 井上恵美子(マリヤ)、鈴木靖夫(マタイ)、高橋明子(川口)、田中史(川口)

■教区審判廷審判員(教区主教以外9人・任期4年=2019年度定期教区会終了まで)

- 主教 磯晴久(長/教区主教)、司祭 内田望、司祭 原田光雄、司祭 山本眞、赤山英雄(ペテロ)
- 石田美郎(聖愛)、井上美津(マタイ)、佐野信三(マルコ)、畑野めぐみ(マルコ)、吉岡康博(ミカエル)

■神学生後援会常任理事(7人/教区主教、教務局長、事務所職員以外任期3年=2016年度まで)

- 主教 磯晴久(長/教区主教)、司祭 奥村貴充、司祭 山本眞(教務局長)、太田幸彦(ルシヤ)、
- 小池義郎(事務所主事/マルコ)、佐野弘子(贖主)、長野加代子(聖職養成委員/トマス)

■管区連携の各担当者(管区の当該委員会・デスク等に対応・連携する教区の担当者・窓口)

\*青年 司祭 古澤秀利(正)、執事 成岡宏晃(副) \*正義と平和 司祭 竹林徑一

\*人権 司祭 原田光雄

■大宗連(主教 磯晴久) 担当 司祭 竹林徑一

■災害対策本部担当者(「東日本大震災」を含む) 司祭 山本眞

★教務局 (任期: 特例として 2017 年度定期教区会まで) 局長: 司祭山本眞、局長補: 司祭内田望

■総務部 部長: 司祭山本眞

◆各委員会の構成

①財務委員会 [長: 太田幸彦 (ルシヤ)] (12 人/財務委員 7 人)

太田幸彦 (ルシヤ)、司祭松平功、竹淵久子 (城南)、服部喜代司 (トマス)、名出正 (川口)

岡墻歩美 (三一)、糟谷茂 (復活)

〈協力委員: 小池義郎 (マルコ)〉

《管財部門》(5 人/通称「管財委員会」)

佐野重雄 (長/アンデレ)、司祭山本眞、宇野哲夫 (アンデレ)、辻潤 (マルコ)、本井雄次 (マリヤ)

②法制委員会 [長: 司祭 山本眞] (5 人)

司祭山本眞、赤山英雄 (ペテロ)、小出裕司 (アンデレ)、春名英夫 (マタイ)、山下幸利 (三一)

③歴史編集委員会 [長: 司祭 義平雅夫] (5 人, 協力委員 1 人)

司祭義平雅夫、司祭竹林徑一、井上綾子 (アンデレ)、早川文子 (トマス)

〈協力委員: 西口忠 (桃山学院史料室)〉

④広報委員会 [長: 司祭 林正樹] (8 人)

司祭林正樹、聖職候補生金山将司、執事成岡宏晃、司祭古澤秀利 (教区ホームページ担当)、

司祭松平功、小出裕司 (アンデレ)、辻節子 (トマス)、林義人 (マリヤ)

⑤「納骨堂」設置申請担当: 國分映旺 (聖愛)

■宣教部 部長: 司祭ウイルソン ウォーレン

◆部会の構成 (部長、副部長、各委員長、教区婦人会長、連合男子会長により構成/7 人)

司祭 ウイルソン ウォーレン、司祭 千松清美、司祭 古澤秀利、司祭 奥村貴充、

高橋明子 (川口)、井上恵美子 (教区婦人会長/マリヤ)、鈴木憲二 (連合男子会長/ステパノ)

◆各委員会の構成

①社会宣教委員会 [長: 司祭 古澤秀利] (9 人)

司祭 内田望、司祭 古澤秀利、大田美智子 (マルコ)、岡部美枝 (パウロ)、小西宏平 (マリヤ)、

田中廉 (トマス)、中尾由紀子 (マリヤ)、野知卓司 (ヨハネ)、牧口一二 (ヨハネ)、山野善子 (テモテ)、

山本久美 (聖愛)

②礼拝・音楽委員会 [長: 高橋明子] (6 人, 協力委員 2 人)

高橋明子 (川口)、司祭 内田望、内海由美子 (川口)、小野田富美子 (アンデレ)、齋藤みち (トマス)、

田中史 (川口)

〈協力委員: 齋藤琢 (トマス)、辻彩乃 (川口)〉

③在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会 [長: 司祭 奥村貴充] (5 人, 協力委員 1 人)

司祭 ウイルソン ウォーレン、司祭 奥村貴充、聖職候補生 金山将司、加納佳世子 (アンデレ)、

眞子義人 (三一)、丹田則史 (ガブリエル)

〈協力委員: 吳光現 (聖公会生野センター)〉

④生涯学習委員会 [長: 司祭 千松清美] (7 人, 協力委員 3 人)

司祭 千松清美、司祭 古澤秀利、執事 成岡宏晃、聖職候補生 金山将司、齋藤みち (トマス)、

豊川雅章 (聖愛)、本間欽悟 (マリヤ)

〈協力委員: 小西宏平 (マリヤ)、寺内誠 (マルコ)、大西温 (三一)〉

★諸団体

■教区婦人会 会長 井上恵美子 (マリヤ) チャプレン 司祭 内田望

■教区連合男子会 会長 鈴木憲二 (ステパノ) チャプレン 司祭 岩城聰

■教区 G F S 代表 岡墻歩美 (三一) チャプレン 司祭 原田光雄

日本聖公会 GFS 担当主教 主教 磯晴久、会長 岡墻歩美 (三一)、ナショナル・チャプレン 司祭 千松清美

■教役者会 幹事 司祭 山本眞、司祭 ウイルソン ウォーレン、司祭 古澤秀利

★聖公会生野センター 大阪教区後援会常任委員 [会長: 主教 磯晴久]

主教 磯晴久 (長)、鈴木憲二 (ステパノ)、丹田則史 (ガブリエル)、服部喜代司 (トマス)、松原恵美子 (テモテ)

(総主事: 吳光現)

★大阪キリスト教連合会 代議員 (代表以外任期 2 年/2018 年 5 月まで)

主教 磯晴久 (代表)、司祭 千松清美 (常議員)、司祭 林正樹、執事 成岡宏晃、小出裕司 (アンデレ)